

ふるさと資金の1億円がきつかけとなり、いま、各地でまちづくり論議、アイディア合戦が活発になっていきます。そこで今回は「夏祭り」で「若頭」や実行委員をつとめられたみなさんに、祭りの意義や夢といったことについて伺いました。

**司会** 一大イベントが終わってホッとしたときだと思いますが、今の心境から伺いたいと思います。

**庄内** 正直言って、「若頭」って何をやるんだかわからなかったんです。無我夢中のうちに祭りが終わったっていう感じです。急に引き受けることになったものだから。こんなことなら去年よく見ておけばよかったと痛感しています。  
**木島 新島地区**には「昭和会」というグループがあつて、祭りのほとんどを昭和会で運営しているんです。農家が多いものですから、祭りの準備と仕事が多かったときは大変でしたが、メンバー全員でやってきましたから、個人的な辛さはありません。

**内田** とにかく終わってホッとしています。今まで若連として祭りにも毎年参加していましたが、若頭となるといろいろな気をつかいますね。思いどおりにいかないのが祭りかもしれません。



躍動感あふれる子どもたち  
(鳥喰上・鳥喰新田)